

# AM News

VOL. 84 – 1月 2026



UN Tourism



親愛なる賛助会員の皆様

2026年の賛助会員向けニュースレター第1号をお届けできることを大変うれしく思います。本ニュースレターは月刊で発行され、会員資格および賛助会員ネットワークに関連する最新のニュース、イベント、取り組みについてお知らせします。

また、UNツーリズムの主要イベントを含む、2026年の暫定的なイベントカレンダーも掲載しています。

このたび、賛助会員・官民連携部門では、スペイン・マドリードで開催される世界有数の国際観光見本市「FITUR 2026」の枠組みの中で、賛助会員の皆様を対象とした複数の特別プログラムを企画していることをお知らせいたします。

- **賛助会員コーナー:「観光における分野横断的価値」**  
日程:2026年1月23日(金)  
時間:11:30~13:00  
会場:Fiturtech Y サステナビリティ・フォーラム、パビリオン12(IFEMA)
- **出版物発表:「アストロツーリズム開発ガイド」**  
(UN Tourismがスターライト財団と協力して制作)  
日程:2026年1月23日(金)  
時間:10:15~11:15  
会場:パビリオン12(IFEMA)

またこの機会に、直近の総会において賛助会員理事会の議長および副議長が正式に承認されたことを、改めてご案内いたします。

議長および副議長には、NECSTouR、サウジ観光庁(Saudi Tourism Authority)、アルゼンチン観光商工会議所(Cámara Argentina de Turismo)が就任しました。

UNツーリズムは、2026~2029年の任期を通じて新たに就任した理事会メンバーの皆様と緊密に連携し、賛助賛助会員制度の価値を一層高めるとともに、観光分野における官民連携の促進に取り組んでいくことを楽しみにしています。

AMConnected+で新たに利用可能となった各種ツールについて、引き続き好意的な反響をいただいております。モバイルアプリも現在、iOSおよびAndroidの両デバイスでご利用いただけます。ぜひAMConnected+への積極的な参加を継続していただき、各種リソースへのアクセスや協業の機会の発見、そして観光の未来を共に形づくる取り組みにご参画ください。

賛助会員・官民連携部門は、皆様の取り組みを支援し、ネットワーク全体における有意義なパートナーシップを促進することに引き続き全力で取り組んでまいります。

ご提案やアイデア、ご要望などがございましたら、いつでもお気軽にお知らせください。

Sincerely,

Ion Vilcu

Director,

AM-PPC



## 2026年 賛助会員向けイベント議題

---

### UNツーリズム 定例およびハイレベル会合

---

#### UNツーリズム 総会および執行理事会

---

6月10-11日	第126回執行理事会	Toledo, Spain
10月	第127回執行理事会	Riyadh, Saudi Arabia

### UNツーリズム 地域委員会

---

2月10-12日.	第52回 中東地域委員会	Kuwait, Kuwait
TBC	第38回 東アジア・太平洋地域および 南アジア地域合同会合	Iran (Islamic Republic of)
TBC	第72回 欧州地域委員会	Malta
TBC	第69回 アフリカ地域委員会	Seychelles
TBC	第71回 アメリカ地域委員会	Paraguay

### 賛助会員理事会

---

1月21日.	第63回 賛助会員理事会会合	Madrid, Spain
TBC	第64回 賛助会員理事会会合	WTM, London, UK

### 賛助会員関連事項委員会

---

TBC	第9回 賛助会員関連事項委員会(CMAM)会合	TBC
TBC	第10回 アフィリエイト会員関連事項委員会(CMAM)会合	TBC

## UN TOURISM/AM-PPC テーマ別イベント(賛助会員参加)

---

3月20日	第1回 UN ツーリズム サステナブル・スポーツツーリズム優秀賞(FIA後援)	Madrid, Spain
3月25-27日	<u>第13回 世界雪山・マウンテン・ウェルネスツーリズム会議</u>	Ordino, Andorra
9月27日.	世界観光日	El Salvador
9月27日.	スクリーンツーリズム世界会議	Madrid, Spain
TBC	第10回 UN ツーリズム グローバル・ワインツーリズム会議	
TBC	第11回 UN ツーリズム 世界ガストロノミーツーリズムフォーラム	

# AM-PPC ニュース

## AM-PPC、第37回世界観光映画賞に参加

第37回世界観光映画賞(World Tourism Film Awards)は、賛助会員であるCIFFTの主催により、2025年12月4日～5日にポルトガル・ギマランイスで開催されました。本イベントは2024–2025年の賛助会員活動プログラムに組み込まれており、観光コミュニケーションや観光映像分野のリーダーたちが知見を交換し、優れた事例を紹介するとともに、観光映画制作における卓越性を祝う場となりました。

初日は終日カンファレンスが開催され、「行動するサステナビリティ:観光コミュニケーションにおけるグリーントランジションのリーダーシップ」をテーマとした専門家パネルからスタートしました。パネルには以下の専門家が参加しました：

- アルベルト・フェルナンデス(Alberto Fernández)、Normmal CEO(モデレーター)
- カルロス・リベイロ(Carlos Ribeiro)、Laboratório da Paisagem エグゼクティブディレクター & Guimarães European Green Capital 2026 エグゼクティブボード
- コリナ・グッチエ(Korina Gutsche)、映画・シネマ・フェスティバルにおけるサステナビリティシニアコンサルタント
- フィリペ・ペレイラ(Filipe Pereira)、CARMA CPLP マネージングディレクター

- ミシェル・マスペリ(Michelle Masperi)、UN Tourism プロジェクトスペシャリスト

UN Tourism は、観光映像産業に関するデータや最新トレンド、さらに複数の賛助会員と連携して実施した最近のイベントや取り組みの具体例を共有し、議論に貢献しました。

2日目はアワードガラに充てられ、世界中の優れた観光映画が表彰されました。式典には、各国の観光機関や観光地、業界関係者の代表者が集まりました。

UN Tourism は開会の挨拶を行い、観光映像分野における活動や賛助会員と共に展開してきた最近の取り組みを紹介しました。また、UN Tourism は「カントリープロモーション部門」の賞を贈呈し、創造的で影響力のある観光コミュニケーションの推進に対するコミットメントを改めて示しました。

本イベントには、賛助会員や加盟国の代表者が参加しました。UN Tourism は、イベントおよび賛助会員主催者を支援することで、観光・文化・クリエイティブ産業の結びつきを強化する取り組みへの姿勢を強調しました。

詳細は[こちら](#)をご覧ください。



# AM-PPC ニュース

## 2026-2029年任期の賛助会員理事会新体制

2026-2029年任期の賛助会員理事会の新しい構成が利用可能になりました>

- ・議長(Chair):NECSTouR
- ・第一副議長:Saudi Tourism Authority
- ・第二副議長:Cámara Argentina de Turismo

以下は23の団体の一覧です:

### アフリカ

- ・エチオピア旅行業者協会(Ethiopian Tour Operators Association - ETOA)
- ・ザンジバル観光投資家協会(Zanzibar Association of Tourism Investors - ZATI)

### アメリカ大陸

- ・アルゼンチン観光会議所(Cámara Argentina de Turismo)
- ・パナメリカホテル・観光学校連盟(Confederación Panamericana de Escuelas de Hotelería y Turismo - CONPEHT)
- ・エクスペディア・グループ(Expedia Group)
- ・ナヤリット州観光振興信託(Fideicomiso de Promoción Turística del Estado de Nayarit)
- ・トリップアドバイザー(TripAdvisor)

### 東アジア・太平洋

- ・Chameleon Strategies
- ・JTB 株式会社

### ヨーロッパ

- ・カタルーニャ観光庁
- ・マドリードホテル事業者協会
- ・CETT-バルセロナ観光・ホスピタリティ・ガストロノミースクール
- ・クロアチア国立観光局
- ・競争力と持続可能な観光のための欧州地域ネットワーク
- ・IFEMA / FITUR マドリード
- ・国際会議・コンベンション協会
- ・マドリード・デスティーノ文化・観光・ビジネス株式会社
- ・スペイン・アクセシブル観光ネットワーク
- ・トルコ観光促進開発庁

### 中東

- ・Red Sea Global
- ・サウジ観光庁

### 南アジア

- ・モルディブ観光産業協会
- ・イラン・イスラム共和国ツーリング＆オートモービルクラブ - TACI



# AM-PPC ニュース

## UN Tourism、22の新しい賛助会員を歓迎

UN Tourism は、成長を続ける賛助会員ネットワークに新たに22の団体が加わったことを発表しました。

新規会員は、さまざまなプロフィールと多様な背景、ビジネス形態を持つ団体で構成されており、2団体がデスティネーション・マネジメント組織、7団体が営利企業、6団体が協会およびNGO、3団体が大学、そして4団体がその他の団体です。地理的分布に関しては、新たに加わった会員は、アメリカ大陸から3団体、アジア・太平洋地域から4団体、ヨーロッパから9団体、中東から6団体で、合計14か国から参加しています。

「これらの新しい賛助会員を歓迎することは、観光エコシステム全体で500を超える団体が参加する、当団体独自のグローバルネットワークを拡大するうえでのもう一つの前進を示すものです。今回の加入は、地理的にバランスの取れた、質の高い賛助会員制度を育むという私たちのコミットメントを反映しています。

新しい会員の皆様と手を携え、UN Tourism のミッションとビジョンを推進し、観光分野における官民連携を前進させていくことを大変楽しみにしています」と、UN Tourism 賛助会員・官民連携部門ディレクターのイオン・ヴィルク氏(Ion Vilcu)は述べています。

現行の入会手続きにおいて、候補者は、事前に賛助会員に関する事項委員会(CMAM)によって審査・承認された後、124回執行理事会での検討および承認のために提出されました。CMAM の第8回会合は、11月8日に開催されました。

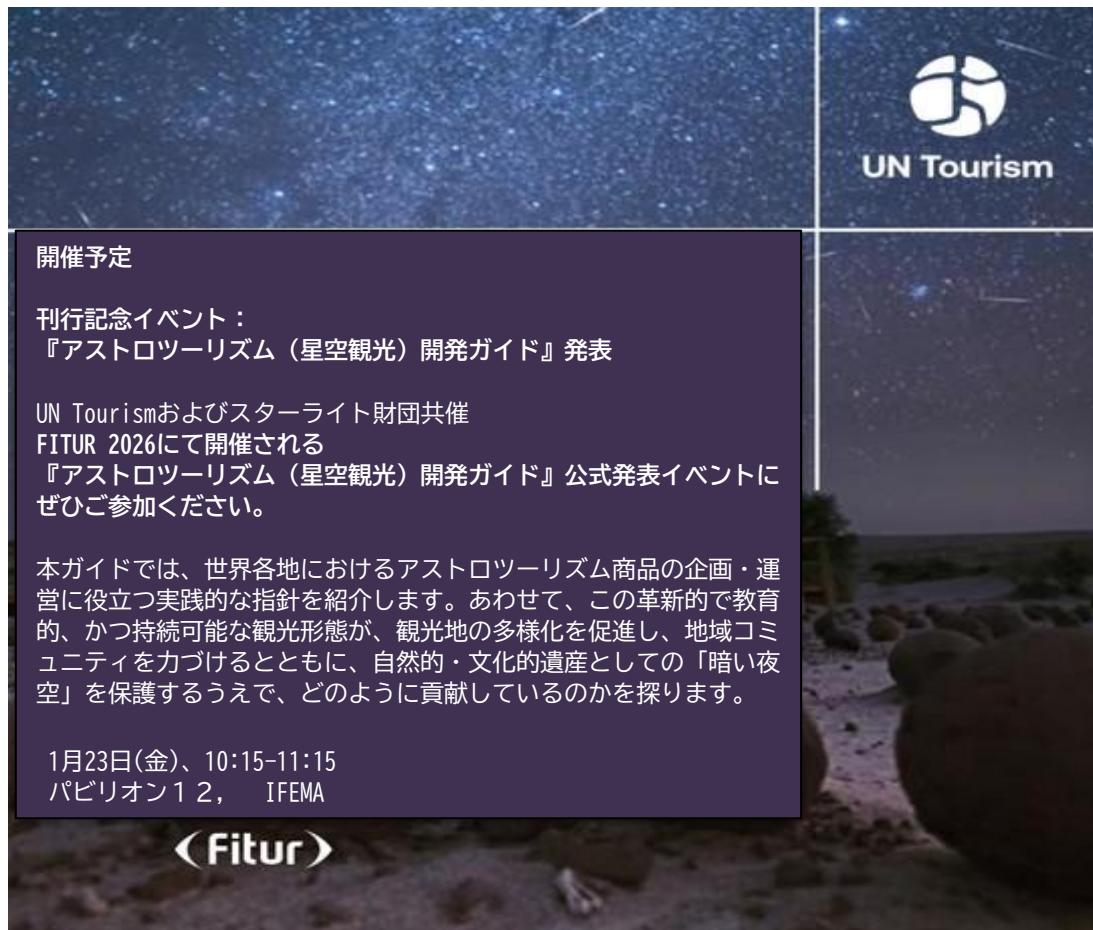
これらの候補者は、賛助会員ネットワークの質および地理的バランスの向上を目的とした賛助会員拡大戦略の実施の結果です。

これらの新規会員の承認は、2025年11月7日～11日にサウジアラビア・リヤドで開催された第26回UN Tourism 総会において承認されました。

詳細は[こちら](#)をご覧ください。



## 開催予定のイベント



**UN Tourism**

**開催予定**

**刊行記念イベント：**  
『アストロツーリズム（星空観光）開発ガイド』発表

UN Tourismおよびスター・ライト財団共催  
FITUR 2026にて開催される  
『アストロツーリズム（星空観光）開発ガイド』公式発表イベントに  
ぜひご参加ください。

本ガイドでは、世界各地におけるアストロツーリズム商品の企画・運営に役立つ実践的な指針を紹介します。あわせて、この革新的で教育的、かつ持続可能な観光形態が、観光地の多様化を促進し、地域コミュニティを力づけるとともに、自然的・文化的遺産としての「暗い夜空」を保護するうえで、どのように貢献しているのかを探ります。

1月23日(金)、10:15-11:15  
パビリオン12、 IFEMA

**Fitur**



**UN Tourism**

**(開催予告)**

**UN Tourism 賛助会員コーナー：**  
観光における分野横断的価値の創出

賛助会員による優良事例や具体例を通じて、分野横断的な連携がいかに価値創出やイノベーション、デスティネーションの競争力強化につながり、観光産業の枠を超えた幅広い効果を生み出しているのかを紹介します。

日時：1月23日（金）11:30～13:00  
会場：FiturtechY サステナビリティ・フォーラム  
(IFEMA 展示場 パビリオン12)

Media Partner

**Fitur**

**ATREVIA**

## UN TOURISM の注目ポイント

### 国際観光客数、2025年1～9月は5%増加

2025年1月～9月の国際観光客数(宿泊を伴う訪問者)は、2024年同期間と比べて5%増加し、パンデミック前の2019年と比べても3%上回りました。

『ワールド・ツーリズム・バローメーター』最新号によると、今年1月から9月までに国際的に旅行した観光客は11億人以上で、2024年同期間と比べて約5,000万人多くなっています。

これらの結果は、観光サービスにおける高いインフレや、地政学的・貿易上の緊張による旅行者の信頼感のばらつきにもかかわらず、年間を通じて旅行需要が堅調に推移していることを反映しています。第3四半期は、北半球における力強い夏季シーズンを背景に、2024年比で4%の増加となりました。

IATA(国際航空運送協会)によると、2025年1月～9月の国際航空旅客需要(RPK)は、2024年同期間と比べて7%増加しました。同期間の国際航空座席供給量(ASK)は6%増加しています。宿泊施設の世界平均稼働率は、2025年9月に68%に達し、2024年9月と同水準となりました(STRデータに基づく)。

国際観光収入に関する月次データは、2025年9月までの期間において、複数の目的地で訪問者の消費が堅調であることを示しています。2025年最初の9か月間の収入増加率では、日本(+21%)、ニカラグア(+19%)、エジプト(+18%)、モンゴルおよびモロッコ(ともに+15%)、ラトビア(+13%)、ブラジル(+12%)、フランス(+9%)などが好調な実績を示しました。

また、米国(8月までで+7%)、フランス(+5%)、ドイツおよびイタリア(ともに+4%)といった主要市場に加え、スペイン(8月まで+15%)や大韓民国(+7%)など、一部の大規模市場においても、アウトバウンド(海外旅行)支出の力強い需要が確認されています。

UN Tourismが本年1月に発表した予測によると、2025年の国際観光客到着数は3～5%の成長が見込まれています。9月までの実績はUN Tourismの予測と概ね一致しているものの、旅行価格の高止まりや厳しい地政学的環境といった要因は、依然として重要な下振れリスクとなっています。

詳細については、[こちらをご覧ください](#)。



# UN TOURISM の注目ポイント

COP30において、ガバナンス強化と適応重視により気候変動対策を前進させる観光分野

観光分野は、COP29での成果を踏まえ、COP30においても地球規模の気候変動対策における役割が一層高まっていることを改めて示しました。11月19日および20日の2日間にわたり開催された「観光テーマデー」では、UN Tourismとブラジル観光省が共催し、低炭素かつ気候変動に強靭な観光セクターの実現に向けた解決策を推進するため、幅広い観光関係者が一堂に会しました。

COP29行動アジェンダにおいて観光分野が位置づけられたことを受け、今回も観光は重要なテーマとして取り上げられ、UN Tourismの「観光と気候行動に関する省庁間作業部会」を通じたガバナンス強化に焦点を当てた議論が行われました。また、UNEP(国連環境計画)と連携し、「ワン・プラネット持続可能な観光プログラム」の枠組みの下で推進されている「観光における気候行動に関するグラスゴー宣言イニシアティブ」の実施を加速させることも、議論全体を通じた重要な要素となりました。

重要な節目の一つとして、UNFCCCハイレベル・クライメート・チャンピオンズの枠組みの下で、観光分野向けの「加速的解決策計画

(Plan for Accelerated Solutions:PAS)」が盛り込まれました。これは、測定、緩和、適応に関する統一的なアプローチを支援するものであり、特に森林、海洋、生物多様性の保全・管理に重点が置かれています。

PASは、観光分野における気候行動を強化するためのグローバル・パートナーシップの構築を支援し、解決策の拡大と資金へのアクセス促進を目的としています。この仕組みは、アゼルバイジャン国家観光庁の主導の下、70か国の政府が支持した「観光分野における気候行動強化に関するCOP29宣言」を起源とするものです。

「グローバル・ムチロン(mutirão)」の精神のもと、現地で開催された観光テーマデーは、UN Tourismと連携し、TravalystおよびThe Travel Foundationが主催した「観光分野における気候行動に関するグローバル・セッション」によって補完されました。

また、「観光における気候行動に関するグラスゴー宣言」の特別署名式が行われ、リオデジャネイロの象徴的存在であるコルコバードのキリスト像(キリスト赎い主像)聖域を含む新たな署名主体が迎え入れられ、気候目標と整合した観光の道筋にコミットする国際的なコミュニティがさらに拡大しました。

詳細は[こちら](#)をご覧ください。



## UN TOURISM の注目ポイント

UN Tourism、AWEと連携し、よりアクセスしやすく包摂的な観光事業の実現に向けた実践的ソリューションを提供

UN Tourismは、ドイツ連邦経済協力・開発省(BMZ)を代表するビジネス・経済開発庁(AWE)と協力し、観光分野全体の事業者がアクセシビリティ向上を通じて社会的インパクトを高めるための実践的なガイドラインを公表しました。

国際障害者デーにあわせて公表された「観光事業者向けアクセシビリティ・ガイドライン」では、旅行・観光関連企業が取り組むべき5つの実践的ステップが示されています。これらには、より幅広い顧客層へのアプローチによる収益拡大、ブランド評価の向上、そしてアクセシビリティ向上に向けた費用対効果の高い改善計画の策定などが含まれます。

これらのステップに従うことで、宿泊施設、旅行会社、運輸事業者、観光地は、誰もが利用しやすい包摂的な環境を整備し、より質の高いサービスを提供するとともに、多様な地域人材の活用を通じて持続可能性の向上にも貢献することができます。

世界では、重度の障害を持つ人は13億人以上にのぼり、60歳以上の人々の約半数が何らかの障害を抱えています。

障害のある顧客、特定のアクセス要件を持つ人々、高齢者およびその家族は、世界市場の最大3分の1を占める可能性があります。そのため、アクセシビリティが不十分であることは排除を示すシグナルとなり、否定的なレビューや評判の低下を招き、収益に悪影響を及ぼすおそれがあります。

アクセシビリティに長期的に取り組むことは、企業の競争力強化につながります。実証データによれば、障害者インクルージョンを重視する企業は、財務パフォーマンスの向上、イノベーションの促進、そしてより競争力の高い組織づくりを実現しています。障害者雇用で先行する企業は、競合他社を上回る成果を上げる傾向があり、最大で売上高が28%高く、純利益は2倍、経済的利益率は30%高い水準を達成しています。さらに、障害者インクルーシブな企業は、利益成長が最大で4倍速く、障害のある従業員の定着率が高いというメリットも得ています。

本ガイドラインは、ONCE財団により分かりやすく利用しやすい形式で作成されました。今後数日以内に、エクアドルおよびキューバで開催されるアクセシビリティに関する主要イベントにおいて紹介される予定です。

また、2026年を通じて、UN TourismはAWEのドイツのパートナーと連携し、企業がアクセシビリティに取り組み、そこから生まれる拡大するビジネス機会を活用できるよう支援するため、追加のプロモーション施策を実施する計画です。

詳細については、[こちらをご覧ください。](#)



## 賛助会員ニュース

### Viristar、アドベンチャー・セーフティ認証を提供

Viristarは、アドベンチャー・ツーリズム、旅行、アウトドアプログラムを対象とした「アドベンチャー・セーフティ認証」サービスを提供しています。本認証は、公平かつ信頼性の高い、リスクマネジメントの質を示す認定制度です。

Viristarによるアドベンチャー・セーフティ認証は、組織が安全管理に関する広く認められた業界標準を満たしていることを示します。認証基準では、アウトドア、アドベンチャー、旅行、体験型プログラムにおけるリスクマネジメントの優良実践(ベストプラクティス)の要件が定められています。認証を取得するためには、各組織が自らの事業内容に適用されるすべての基準を満たしていることを示す証拠を提出する必要があります。

アドベンチャー・セーフティ認証の基準は、「アドベンチャー・セーフティ認証基準マニュアル」にまとめられています。本マニュアルでは、各基準の解説に加え、補足説明、提案事項、優良事例に関するガイダンスなどを含め、アドベンチャー・セーフティ認証基準について100ページを超える詳細な内容が提供されています。

認証および監査制度における数十年にわたる経験を有するViristarは、本サービスにおいて豊富な専門知識を提供しています。同組織は、屋外活動、体験型、旅行、アドベンチャープログラムを対象としたリスクマネジメント評価を、複数の国・大陸にわたって実施してきました。これらの評価では、Viristarが確立した優良実践基準をベンチマークとして用い、パフォーマンスを検証しています。アドベンチャー・セーフティ認証基準は、アジア、アフリカ、南北アメリカ、オセアニア、ヨーロッパを含む世界各地のアドベンチャープログラムからのフィードバックを反映し、長年にわたり慎重に策定されてきました。

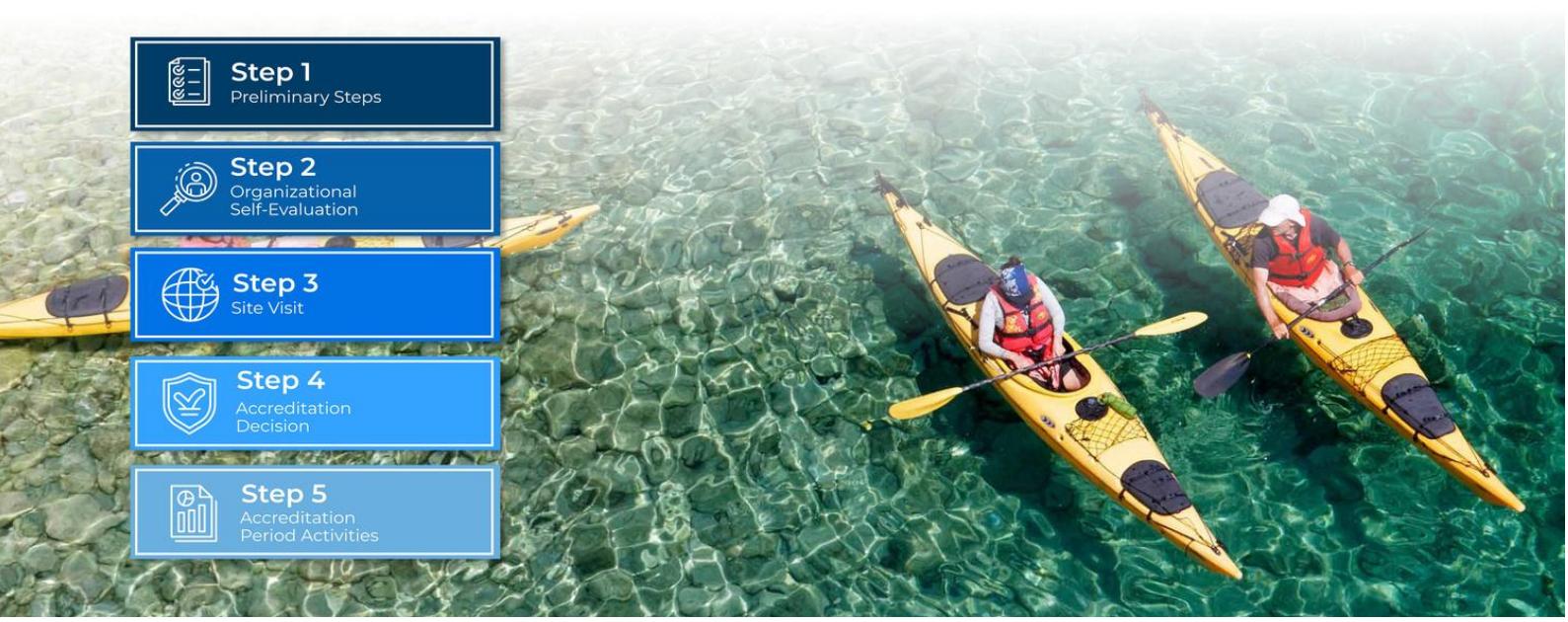
政府機関や企業をはじめ、業界団体、非営利組織、教育機関など、幅広い組織が、業界のベストプラクティスに沿ったアドベンチャー関連プログラムであることを確保するため、公平かつ高品質な評価を提供するViristarを信頼しています。

アドベンチャー・セーフティ認証の詳細については、以下のウェブサイト

<https://www.viristar.com/accreditation/>をご覧いただき、info@viristar.com までお問い合わせください。



**VIRISTAR**®



## 賛助会員ニュース

### VAI TURISMO、ワークショップ第1サイクルを終了 2026年に向けた展望を提示

全国商工サービス観光連盟(National Confederation of Trade in Goods, Services and Tourism)が、観光・宿泊業ビジネス評議会を通じて、GKS Territorial Intelligenceと連携して推進する「Vai Turismo - Rumo ao Futuro(ヴァイ・トウリズモ:未来への道)」プログラムは、第1回目となる準備ワークショップのサイクルを終了しました。本サイクルには、全国27の連邦単位すべてにおいて、公的・民間あわせて約500の機関が参加しました。州商業連盟の支援のもと実施された本イニシアティブは、過去3年間の成果を振り返るとともに、2026年に向けた公共政策提言の策定を目的としたものです。

2021年から2022年にかけては、56回のワークショップと100回以上の技術会合が開催され、1,800人の専門家が参加しました。その結果、48の地域別提言、359の州レベル提案、52の市町村レベル提案からなる、充実した提案集が作成されました。これにより、観光分野は2022年に当選した候補者の政府計画の100%に盛り込まれる成果を上げました。

また、「観光競争力インテリジェンス・パネル」プラットフォームには、合計2,634件のプロジェクトが登録されており、その内訳は2025年時点で、更新済みプロジェクトが1,413件、新規プロジェ

クトが1,221件となっています。本サイクルの終了は、本プログラムが公共アジェンダに影響を与える力を改めて示すとともに、観光を国家発展における戦略的な柱として確立するものです。作業部会は2026年まで活動を継続し、観光分野における持続的な公共政策を強化するため、イノベーションと関係者の動員に注力していきます。

CNC-Sesc-Senacシステムの会長であるジョゼ・ロベルト・タドロス氏は、「本プログラムに向けた準備ワークショップの第1サイクルを終え、公共政策の構築と観光分野の全国的な連携において、また一つの節目を迎えました。幅広い参加は、観光分野における多様な声を包括的かつ民主的に反映しようとする本プログラムの姿勢を示しています」と述べています。

また、CNCでCetur(観光・宿泊業評議会)を担当するアレクサンドル・サンパイオ氏は、これらの数値について、「政府、マーケット、組織化された市民社会を結集し、ブラジル観光の長期的な指針を共に築くプロセスを重視する、対話と協働の力強さを示すものです」と評価しています。



VAI  
TURISMO

## 賛助会員ニュース

ディリーヤ、キング・サウード大学と長期協定を締結、ディリーヤ・スクエアにアップルの象徴的フラッグシップストア開設へ

ディリーヤ・カンパニーは、長期的な開発方針を反映する二つの節目となる取り組みを発表しました。これにより、学術分野との連携と、グローバルな民間セクターからの投資が、ディリーヤの包括的なマスタープランの下で結び付けられます。

アップルは、ディリーヤ・スクエアの中心部に象徴的なフラッグシップストアを開設するための賃貸契約に合意しました。この合意は、アップルが2026年からサウジアラビア国内で複数のフラッグシップストアを展開すると発表したことを受けたもので、ディリーヤの店舗は、ユネスコ世界遺産であるアット・トウライフ遺跡の近隣に位置する予定です。

このフラッグシップストアの開設は、厳選された都市空間の中で、グローバルブランドとサウジアラビアならではの本物の文化遺産を融合させた、ライフスタイルおよび小売の主要拠点としてのディリーヤ・スクエアの発展における重要な節目となります。

この動きは、同国が多国籍企業にとっての地域ハブとして台頭するという王国の意欲を強調するものであり、直接投資の加速と、国際競争力を備えた国内ビジネスの育成を通じた成長の推進を目指すものです。

同社は、キング・サウード大学と、同大学の投資部門であるリヤド・バレー・カンパニーを通じて、70年間の長期賃貸契約を締結しました。本契約は、ディリーヤ内に位置する552,000平方メートルの敷地を対象としており、プロジェクト全体のマスタープランに沿った開発を可能にするものです。

このパートナーシップは、持続可能な投資モデルを通じて大学資産の価値を最大化するとともに、知識経済を支援し、学術機関と国家的な大型開発プロジェクトとの連携強化を目的としています。大学側の指導部は、本協定を財務の持続可能性に向けた一歩であり、国家発展における大学の役割を形作る高品質かつ長期的なパートナーシップの好例であると評価しています。

これら一連の取り組みは、教育、文化、小売、そしてプレイスメイキングを一体的に結び付け、長期的なビジョンのもとで推進するディリーヤの統合型開発モデルを浮き彫りにしています。



## 賛助会員ニュース

### ギマランイス、持続可能な観光分野で新たな節目を達成

ギマランイスは、EarthCheck認証制度においてシルバーレベルを取得し、持続可能性における国内外の指標都市としての地位を改めて確立しました。この認証は、IPDT (Tourism Intelligence)の支援・助言のもとで実施された厳格な評価プロセスを経て授与されたものであり、同地域にとって特に意義深いタイミングでの成果となっています。

同市は「欧州グリーン首都2026」に選定されており、これは持続可能な開発に向けた堅実かつ一貫した、戦略的な取り組みが評価されたものです。この栄誉は、「サーキュラー・シティーズ&リージョンズ・イニシアティブ」のパイロット都市としての地位、「グリーン・シティ・アコード」への参加、「サーキュラー・シティーズ宣言」への賛同など、他の評価とも相まって強化されています。さらに2023年には、カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)において最高評価を獲得し、ポルトガルで唯一、このレベルの認定を受けた都市となりました。

ギマランイスは早い段階から、公的機関、民間組織、大学、そして地域社会全体を巻き込んだ、統合的かつ協働的なアプローチを推進してきました。

このビジョンは「Guimarães 2030」ブランドに体現されており、Bairro C、Laboratório da Paisagem、Brigadas Verdes、そして2030年までのカーボンニュートラル達成を目指し、100を超える企業・機関が署名した「ギマランイス気候協定」など、幅広い革新的プロジェクトを包含しています。

これらの取り組みに加え、認証プロセスを通じて得られたベンチマーク結果は、これまでの取り組みの有効性を示しています。データによると、ギマランイスでは以下の成果が確認されています。

- ・飲料水消費量: 1人当たり年間50.9キロリットル
- ・埋立処分される廃棄物量: 1人当たり年間0.28立方メートル
- ・生息地保全区域: 市域の56% (うち緑地が73.8%を占める)

IPDT(Tourism Intelligence)は、本プロセスを支援できることを誇りに思っており、観光地向けの持続可能性認証に関するコンサルティングの専門知識と、観光分野における持続可能性の定着を目指す戦略的ビジョンを提供しました。



## 賛助会員ニュース

SHTM、初開催の「IMPACT サービス・エクセレンス・アワード」で香港のホスピタリティ業界の優秀事例を表彰

香港理工大学ホテル・観光マネジメント学院(SHTM)は、2025年12月9日にホテルICONで開催された「IMPACT2025 カンファレンス・ガラディナー」において、大きな節目を迎えました。業界リーダー、世界的な研究者、イノベーターが一堂に会する中、SHTMは「SHTM IMPACTアワード2025(サービス・エクセレンス部門／ホテル業界)」を初めて発表し、卓越した顧客サービスを体現するホテルを表彰しました。

SHTM と CoStar Group Academic Engagementの共催によるIMPACT2025は、同学院を代表するフラッグシップ・カンファレンスです。今年は、香港のホスピタリティ体験の質を真に高めているホテルを称える新たなアワードを創設し、業界に対するリーダーシップと貢献をさらに前進させました。

この新設アワードは、香港理工大学SHTM観光デジタルトランスフォーメーション研究センター(RCdTT)が開発した「香港観光満足度指数(Tourist Satisfaction Index:TSI)」に基づき、香港のホテルにおける卓越したサービス実績を評価・表彰するものです。TSIは、2012年から2024年にかけて投稿された125万件以上のTripAdvisorレビューを、大規模言語モデル(LLM)によって分析することで

算出されており、香港のサービス分野の現状をこれまでで最も包括的に捉えた指標の一つとなっています。

TSIは、5つの観光関連分野における13,694のサービス提供者から得られたデータを基に、施設・設備(有形性)、信頼性、対応力、安心感、共感性といった観点からパフォーマンスを評価しています。ホテル部門では、2024年8月から2025年8月の間に、インバウンド観光客によるレビューが500件以上寄せられた施設を対象としました。「SHTM IMPACTアワード2025(サービス・エクセレンス部門／ホテル業界)」の受賞ホテルは、以下のとおりです(アルファベット順)。

- ・グランド ハイアット 香港
- ・マンダリン オリエンタル 香港
- ・ニーナ・ホテル・コーズウェイベイ
- ・ローズウッド 香港
- ・ザ・リッツ・カールトン 香港

香港理工大学SHTM副学長補佐(Associate Dean)であり、RCdTT所長の宋 海燕(ハイян・ソン)教授は、次のように述べています。「これらの受賞ホテルは、香港ホスピタリティの最高水準を体現しています。その成果は、卓越した顧客体験への搖るぎないコミットメントを示すものであり、香港が世界有数の観光都市であるという地位を確固たるものにしています。」

THE HONG KONG  
POLYTECHNIC UNIVERSITY  
香港理工大學  
SCHOOL OF HOTEL AND TOURISM MANAGEMENT



## 賛助会員ニュース

TOPOSOPHY、エдинバラのナイトタイム・エコノミーに向けたステークホルダー参画計画を策定へ

TOPOSOPHYは、エдинバラ市議会より任命を受け、エдинバラのナイトタイム・エコノミー(NTE)に関するステークホルダー参画計画の策定を主導することとなりました。本取り組みは、市内における夜間活動について、より連携が取れ、強靭で、将来を見据えたアプローチを支援するものです。

### プロジェクト概要：

エдинバラは、その歴史的景観、豊かな文化、そして年間を通じたフェスティバルで世界的に知られています。一方で、ナイトタイム・エコノミーもまた、地域のウェルビーイング、ビジネスの活力、そして来訪者体験の質を形成する上で、都市のアイデンティティに欠かせない要素です。

エдинバラをはじめとする多くの現代都市において、活力あるナイトタイム・エコノミーは、競争力があり持続可能な観光経済の基盤として、ますます重要視されています。夜間の魅力を高め、滞在時間を延ばし、多様で活気ある都市生活を支える役割を果たしています。

こうしたビジョンを推進するため、TOPOSOPHYは、エдинバラのナイトタイム・エコノミーに関わる幅広い組織ネットワーク全体で、コミュニケーションと協働を強化するための

体系的な参画アプローチを策定する業務を受託しました。本計画には、文化、ホスピタリティ、交通、安全、ビジネス、コミュニティ開発といった分野のパートナーが含まれており、いずれも都市の夜間エコシステムを支える重要な担い手です。

#### ・実施モジュール

既存のナイトタイム・エコノミー(NTE)における関係性、参画のあり方、エコシステムの動態に関する詳細な分析

#### ・パートナーシップ機会

都市全体および来訪者戦略との整合性を高めるための、連携上のギャップや協働機会の特定

#### ・ステークホルダー参画プログラム

インタビュー、意見交換、ターゲットを絞ったアウトリーチを通じ、将来の投資に向けた洞察の収集と、信頼に基づく協働関係の構築を支援

#### ・アドボカシーおよび整合性の確保

行動に向けたモデル、役割、コミュニケーションチャネル、パートナーシップの仕組み、そして協調的な実行プロセスを定義する実践的フレームワークの構築

**TOPOSOPHY**  
PLACE MAKING & MARKETING AGENCY





UN Tourismの賛助会員および官民連携部門は、UN Tourismと公共部門および民間部門とのパートナーシップの管理を担っています。

お問い合わせ先:[am@unwto.org](mailto:am@unwto.org)

*UNprecedented Perspectives*  
(UN Tourism 賛助会員による寄稿)